



# 整備の基本方針

石神城跡は、城としての遺構が非常に良く残っており、築城から廃城までの姿を内に秘めて現在に伝える貴重な遺跡です。また、堀や土塁、郭などの遺構そのものに加えて、旧久慈川流路に面した往時の立地環境を現地で体感できることや、惣構えが想定される景観が石神内宿に見られること、廃城となったのちも石神城主に関連の深い寺社が現存するなど、石神地区全体で、石神城が城として利用されていた中世の時代を感じられることが大きな魅力です。さらに、自然豊かな公園としての一面も石神城跡の魅力のひとつです。

この石神城跡を保存し、後世へ継承していくとともに、村民が自分たちの城として親しみ、積極的に活用することで、地域の歴史を物語るシンボルとなることを目指します。そこで、目標とする史跡公園のイメージを伝えるキャッチフレーズに、

**『いこうぜ石神城！ 現在・過去・未来 つづく思いが響く杜』**

を掲げて、その実現にあたり、整備の基本方針を以下のとおり決めました。

- (1) 文化財としての価値を守るための整備
- (2) 石神城の魅力を知りやすく伝える整備
- (3) 村民が積極的に活用できる整備
- (4) 維持管理のしやすさに配慮した整備



石神城跡整備イメージスケッチ

## 整備ゾーニング